

調達コストの削減と最適化を実現する： 『最強の調達戦略』の考え方・進め方

～成熟市場での収益力を向上させるグローバル調達戦略のフレームワークと施策～

■ 日 時 ■ 2014年 7月 31日 木曜日 13:00 ～ 17:00

■ 会 場 ■ 東京・麹町・企業研究会 セミナールーム

■ 講 師 ■ A.T.カーニー株式会社 パートナー 野田 武 氏

戦略オペレーションプラクティスのリーダーの一人。東京大学・同大学院卒 工学修士、ペンシルバニア大学経営大学院ウォートン校卒 MBA with Distinction (成績優秀賞)
大手エンジニアリング・建設会社を経てA.T.カーニー入社、2009年より現職
戦略的な視点からのオペレーション改革を目指して、多数の企業に対してコンサルティングを実施し、顧客企業に「目に見える成果」を実現している。全社・事業戦略の立案、オペレーション戦略立案及び改革の実施（調達、生産、マーケティング、営業、SCM）、グループ経営管理の高度化などのプロジェクト経験多数

■本セミナー開催の背景■

企業は総コストの内、6～7割程度を外部から調達しており、調達活動は企業のコスト競争力、収益創出力を考える上で重要です。しかし、売上確保のための営業活動と比べて、調達活動を戦略的なものと位置づけている企業はどれほどあるのでしょうか？収益貢献のポテンシャルという観点では、営業活動と同等、または成熟市場にあっては、それ以上に重要であるにも関わらず、見落とされがちです。

ところが、グローバル企業は既に調達活動の重要性に気づき、調達組織に大きな権限と責任を与えつつあります。A.T.カーニーが定点観測的に実施している調達活動に関するグローバルベンチマーク調査 AEP (Assessment of Excellence in Procurement) でもその傾向が現れています。また、このような趨勢の中で、日本企業においても調達機能の高度化による一層の経営貢献が求められています。そして、AEP から見えてきた2つの具体的な方向性とはグローバル調達機能の高度化と間接材コストへの取り組みです。

本セミナーでは、先般、東洋経済新報社より上梓された「最強の調達戦略」に沿って、調達機能に関わるグローバルな趨勢と日本企業への示唆を概観し、具体的な取り組みについて考えていきます。また、調達機能の強化のためのツールとして、調達戦略の策定の枠組みとなる「調達戦略のチェスボード」や調達における業績管理指標 ROSMA (Return on Supply Management Asset) を紹介します。

尚、調達機能の高度化は、調達部門だけで検討すべきことではなく、企業活動に携わる多様な部門を交えて全体最適な視点で検討する必要があるため、経営企画部門の方々にとっても有意義な内容です。

●参加要領●

●受講料● 1名 (税込み、資料代含む)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより [TOP] → [公開セミナー] → [よくあるご質問] をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人 企業研究会
担当：早瀬 E-mail: hayakan@bri.or.jp
〒102-0083 千代田区麹町5-7-2 麹町31MTビル2F
TEL 03-5215-3512 FAX: 03-5215-0951

141346-0101※	2014-7-31	『最強の調達戦略』の考え方・進め方	
会社名			
住所	〒 -		
TEL		FAX	
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

13:00

●はじめに

●グローバル調達ベンチマーク調査 AEP (Assessment of Excellence in Procurement) とは

- 調査の目的と歴史
- ベンチマーク調査の枠組み
 - ◇ 調達機能の要素とは? : 「調達の家 (House of purchasing and supply)」
 - ◇ 調達活動の費用対効果指標 : ROSMA (Return on Supply Management Asset)

休憩

●グローバル調達ベンチマーク調査 AEP の結果概要 : 調達機能のグローバル潮流

- 調達活動を取り巻く環境と先進企業における方向性
 - ◇ 戦略的な方向付け : 幅広い権限
 - ◇ 付加価値創造プロセス : ダイナミックな価値創造戦略
 - ◇ 支えるインフラ : 徹底的な能力の強化

●日本企業の対応策 : 経営に貢献する調達に向けて

- 日本企業に見受けられた課題と改善の取り組みの方向性
 - ◇ グローバル調達機能の高度化
 - ◇ 間接材コストへの取り組み

●グローバル調達改革の進め方

- プロジェクト事例紹介
 - ◇ グローバル調達における陥りがちな罠
 - ◇ 変革プログラムの策定
- 調達戦略立案のためのグローバルプラットフォームの構築
 - ◇ 「調達戦略のチェスボード」 : 需要と供給のパワーゲーム
 - ◇ 調達実績プロファイルと調達戦略の策定

15:40

休憩

15:50

●間接材コストへの取り組み

- 間接材コストとは?
- 何故、間接材コストなのか?
- 着目すべき費用カテゴリー
 - ◇ メディア/IT/子会社からの調達

●簡易診断の御案内

●質疑応答&ディスカッション

※講師と同業企業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。

17:00

終了